

え・が・お

つくばみらい市立谷井田小学校 学校便り

平成26年5月1日 NO, 2

つくばみらい市立谷井田小学校 文責：渡 辺

言葉の大切さ～やさしい言葉を！！～

小学校の息子が私に、空になった弁当箱を渡しながら
「おかあさん、今日の弁当おいしかったよ」と言ってきた。
「おいしかったよ」という言葉は、私にとって最高のプレゼントになった。

これはある新聞に掲載されていた小学生の息子をもつ母親の投稿記事です。

言葉は人を傷つけてしまうこともあります。勇気づけたり、やさしい気持ちにする力もあります。私達は日常生活で、そんな言葉を交わして生活しています。

谷井田小学校でも、毎日、教師と児童、児童同士、いろいろな言葉が交わされています。「ありがとう」「おはよう」「ごめんね」「だいじょうぶ？」「すごい、上手だね」等、人の気持ちを勇気づけたり、優しい気持ちにしてくれる『魔法の言葉』もあれば、傷つけるつもりはなくても、相手を傷つけてしまう言葉もあります。

谷井田小学校の児童には、周りの人に『やさしい言葉』をかけられる人になってもらいたいと思います。そのためには、私たち教師を含め、大人が模範を示し、学校や家庭で『ていねいな言葉・やさしい言葉』を忘れずに生活していく事が大切だと思います。

※ 先日、グラウンドでゴミ拾いをしていると、通りかかった二年生の女子が「教頭先生、お掃除ありがとうございます」と言ってくれました。突然のやさしい素直な言葉に、心が温かくなりました。

しばらくしてから、その子の家庭のことを考えました。おそらくその子の家庭では、普段から『やさしい言葉』を掛け合っている家庭に違いないと思いました。

＜授業参観，PTA 総会，懇談会への御出席，
家庭確認へのご協力ありがとうございました。＞

4月19日（土）の参観日には、沢山の保護者の皆様にご出席いただきました。また3日間にもわたり行った家庭確認へのご協力、本当にありがとうございました。

谷井田小学校では、学校と家庭と地域が、強い信頼で結ばれ、三位一体となって子ども達を育てる事を目指しています。今後ともご協力よろしくお願いします。

